

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

「リそな」

HUMAN COMMUNICATION

平成18年度中間決算説明資料



RESONA

平成18年11月28日



リそなホールディングス

RESONA

CONTENTS

1. 平成18年度中間決算ハイライト
2. 平成18年9月中間期の損益概要等
3. 連結納税制度下の繰延税金資産等
4. 単体合算の利益剰余金等
5. 自己資本比率等
6. 貸出金の状況
7. 強みを活かすビジネス分野
8. 平成18年度の業績予想等

【ご参考資料】

9. 有価証券の状況
 10. 保有株式 業種別ポートフォリオ(りそな銀行)
 11. 債務者区分間の遷移状況(りそな銀行)
 12. オフバランス化の実績(4行合算)
-

平成18年度中間決算ハイライト

■ HD連結中間純利益は4,609億円を計上

- ・中間純利益は前年同期比+2,866億円の増益
⇒ 所得見積期間を概ね5年へ見直し、繰延税金資産を計上
- ・税金等調整前純利益は前期同期比+176億円の増益
- ・債券損益除き連結粗利益は前期同期比+183億円の増益(次頁)

■ 18年9月末の合算利益剰余金は1.18兆円を確保

- ・HD単体にて臨時決算を行ない、分配可能額を確定
⇒その他資本剰余金+利益剰余金-自己株式=6,817億円

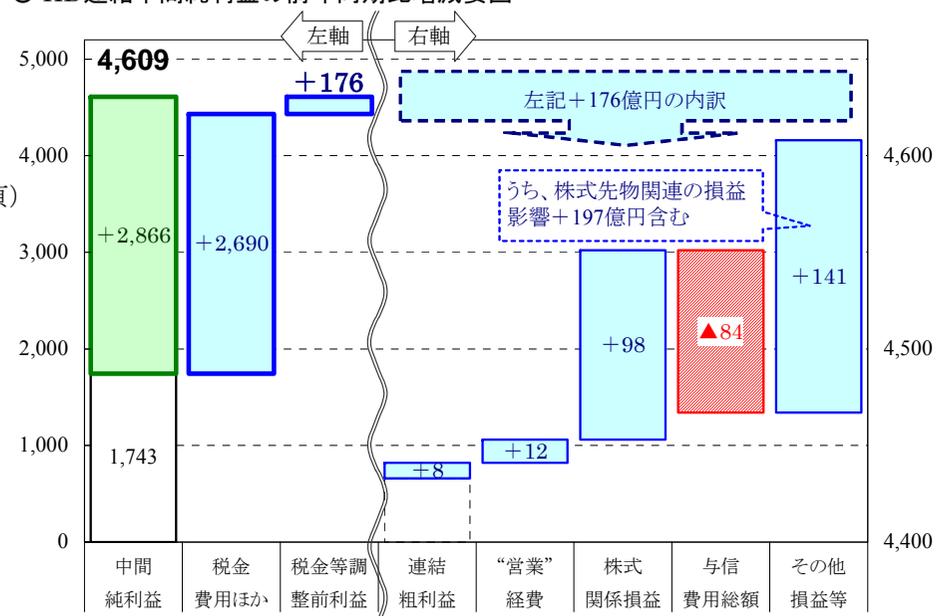
■ 公的資金の返済

- ・11月2日に劣後ローン200億円返済

■ 「強みを活かすビジネス分野」は引続き好調

- ・住宅ローン :18年9月末残高は11兆円を突破(銀行合算)
- ・投資商品 :18年9月末残高は3兆円を突破(銀行合算)
- ・不動産業務 :上半期では過去最高の65億円(りそな銀行)
- ・企業年金 :受託残高は6兆円超を維持(りそな信託銀行)

○ HD連結中間純利益の前年同期比増減要因 (単位:億円)



	HD《連結》		HD《連結》	
	[18年3月期]	(17年9月期)	【18年9月期】	17/9期比
連結粗利益	7,686	3,783	3,792	+8
税金等調整前純利益	4,025	2,036	2,212	+176
中間(当期)純利益	3,832	1,743	4,609	+2,866

	HD〈単体〉	HD〈単体〉	
	(17年9月期)	【18年9月期】	
営業収益	2,228	2,615	+386
税引“前”中間純利益	2,102	2,560	+458
中間純利益	2,134	2,875	+741

	銀行合算〈単体〉		りそな銀行〈単体〉		埼玉りそな		近畿大阪〈単体〉		りそな信託 ※	
	【18年9月期】	17/9期比	【18年9月期】	17/9期比	【18年9月期】	17/9期比	【18年9月期】	17/9期比	【18年9月期】	17/9期比
実勢業務純益	1,795	+5	1,178	△38	389	+40	139	△24	88	+32
経費率(信託勘定処理考慮)	47.7%	△0.1%	47.5%	+1.0%	45.8%	△2.6%	57.8%	+4.3%	36.6%	△10.0%
税引“前”中間純利益	2,135	+178	1,546	+141	348	+46	152	△43	88	+31

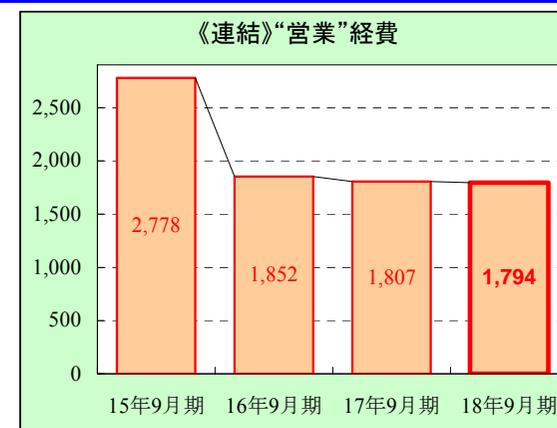
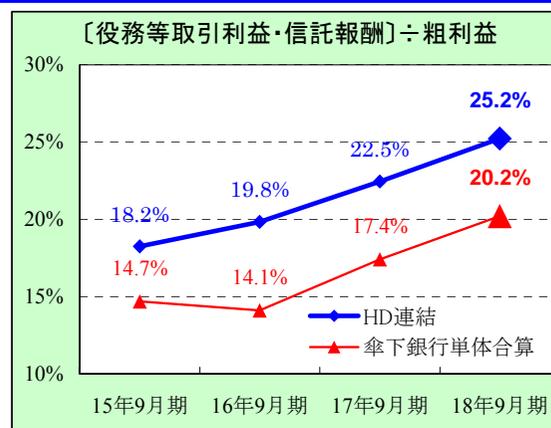
※当中間期から、より適正な期間損益計算を実現する為に、一部信託業務の損益認識基準を発生主義に変更

注1:金額については単位未満を切捨て表示 注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

平成18年9月中間期の損益概要等

(単位:億円)

	HD《連結》		連単差 (A)-(B)	傘下銀行 単体合算 (B)		りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	りそな信託	連単差(A)-(B)の 内訳など 〔概数〕
	(A)	17/9期比		17/9期比	17/9期比					
粗利益〔連結/業務〕	3,792	+8	+357	3,434	+1	2,245	717	331	139	
┆債券損益除き	3,860	+183	+357	3,503	+175	2,312	717	333	139	
① 資金利益	2,791	+149	+92	2,698	+153	1,799	607	291	0	カード50、資本金利払消去40、他
② 信託報酬	196	+42	—	196	+42	37	—	—	158	
③ 役務取引等利益	760	+64	+263	497	+53	353	124	39	△18	保証150、カード70、決済10、他
④ その他業務粗利益	43	△247	+1	41	△247	54	△14	1	—	
実勢業務純益				1,795	+5	1,178	389	139	88	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
┆コア業務純益				1,864	+179	1,245	388	142	88	(債券関係損益、信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費(△)	1,794	△12	+156	1,638	△58	1,057	334	195	51	カード80、保証15、のれん償却35、他
株式関係損益	357	+98	+13	343	+53	330	△4	18	—	キャピタル10、他
与信費用総額(△)	304	+84	+123	181	+62	157	36	△13	—	保証80、カード30、他
その他損益等	162	+141	△14	177	+125	186	7	△16	△0	
税引“前”中間純利益	2,212	+176	+76	2,135	+178	1,546	348	152	88	
税金費用ほか(△)	△2,397	△2,690	△279	△2,118	△2,334	△2,321	158	8	36	HD単体税効果△218、少数株主利益△62他
税引後中間純利益	4,609	+2,866	+356	4,253	+2,512	3,867	189	144	52	

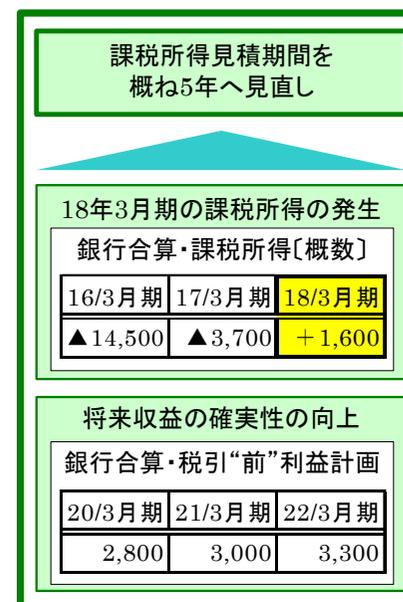
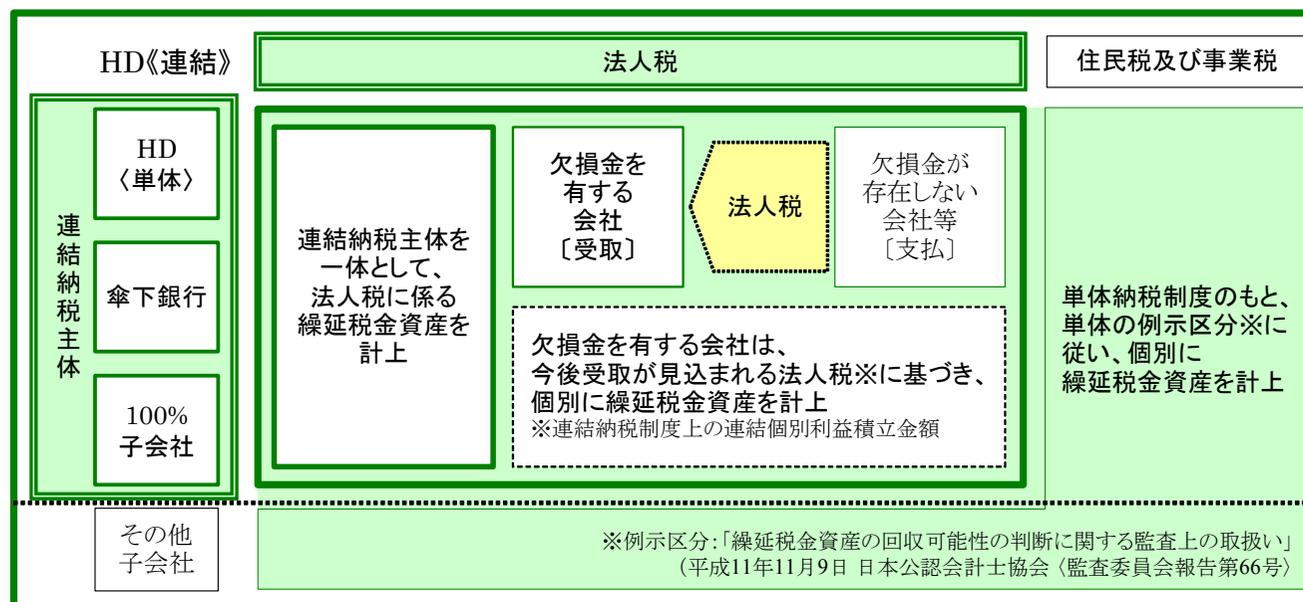
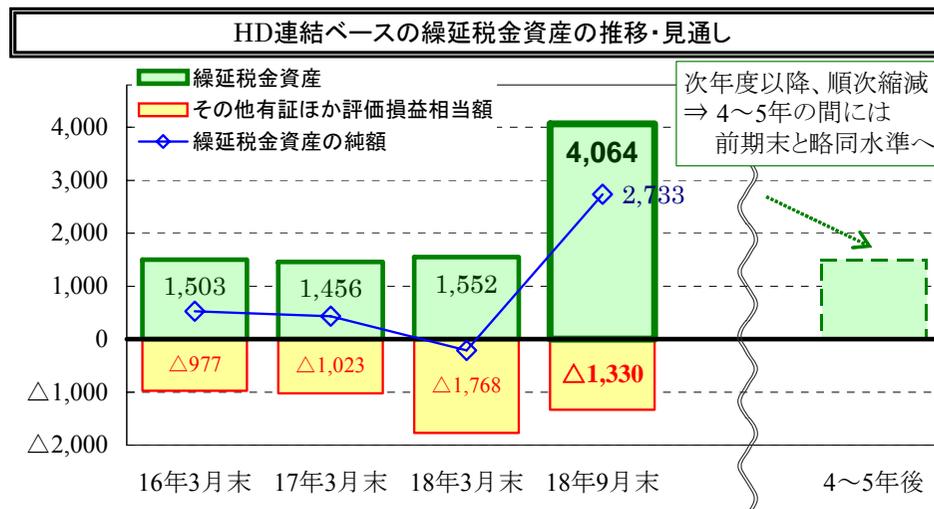


注1:金額については単位未満を切捨て表示 注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

連結納税制度下の繰延税金資産等

(単位:億円)

	繰延税金資産の純額		繰延税金資産
	繰延税金資産の純額	その他有証ほか評価損益相当額	
HD《連結》	2,733	△1,330	4,064
18年3月末比	+2,949	+437	+2,511
HD《単体》	301	—	301
18年3月末比	+218	—	+218
りそなく《単体》	2,476	△963	3,439
18年3月末比	+2,723	+413	+2,310
埼玉りそな	△139	△326	187
近畿大阪《単体》	49	△20	69
りそな信託	3	△0	3



注1: 金額については単位未満を切捨て表示 注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

自己資本比率等

(単位:億円)

	17年3月末	18年3月末	18年9月末〔速報値〕	
	①	②	③	③-②
HD連結・自己資本比率	9.74%	9.97%	12.50%	+2.53%
Tier I 比率	5.27%	5.95%	8.17%	+2.22%
繰延税金資産比率(b)÷(a)※	3.81%	0.24%	14.02%	+13.78%
HD連結・Tier I (a)	11,928	14,257	19,545	+5,288
資本金・資本剰余金	5,906	5,907	6,537	+630
うち優先株式	25,378	25,318	25,948	+630
利益剰余金	3,648	7,177	11,771	+4,593
その他基本的項目	2,373	1,173	1,237	+64
うち優先出資証券	2,642	1,350	1,355	+5
【参考】繰延税金資産(b)※	455	35	2,741	+2,706
HD連結・Tier II	10,214	9,711	10,481	+769
有価証券含み益の45%相当額	第二(国内)基準の為、算入しておりません			
土地再評価差額金の45%相当額*1	490	482	482	△0
一般貸倒引当金*2	1,413	1,495	1,495	△0
劣後債務	8,310	7,733	8,503	+770
うち公的資金〔現在残:800〕	3,000	1,000	1,000	—
HD連結・控除項目	△108	△109	△109	△0
HD連結・BIS自己資本額	22,034	23,860	29,918	+6,057
HD連結・リスクアセット	226,140	239,307	239,211	△96

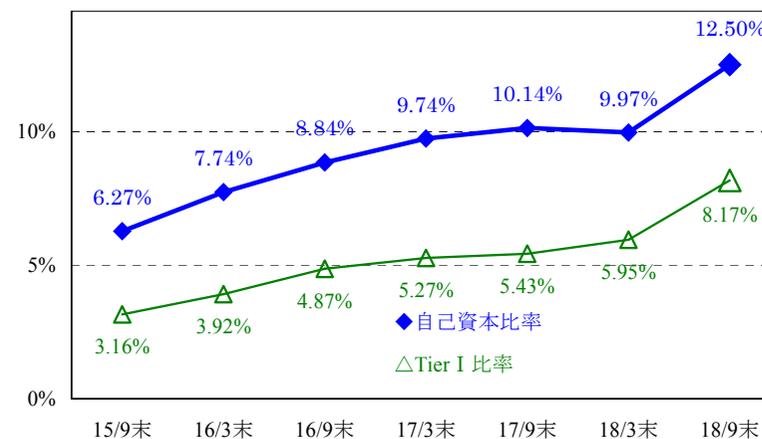
*1 土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額

*2 当社グループは第二基準(国内基準)の為、リスクアセットの0.625%が上限

18年9月末〔速報値〕	りそな 《連結》	埼玉りそな 〈単体〉	近畿大阪 《連結》	りそな信託 〈単体〉
自己資本比率	11.20%	8.58%	8.56%	156.68%
18年3月末比	+2.12%	+0.38%	+0.39%	+31.87%
Tier I 比率	6.99%	4.66%	5.34%	156.68%
繰延税金資産比率※	20.64%	—	4.36%	1.03%
BIS自己資本額	19,233	3,902	1,816	315
18年3月末比	+3,435	+214	+103	+27
うちTier I	12,009	2,123	1,134	315
リスクアセット	171,690	45,481	21,202	201
18年3月末比	△2,245	+512	+245	△29

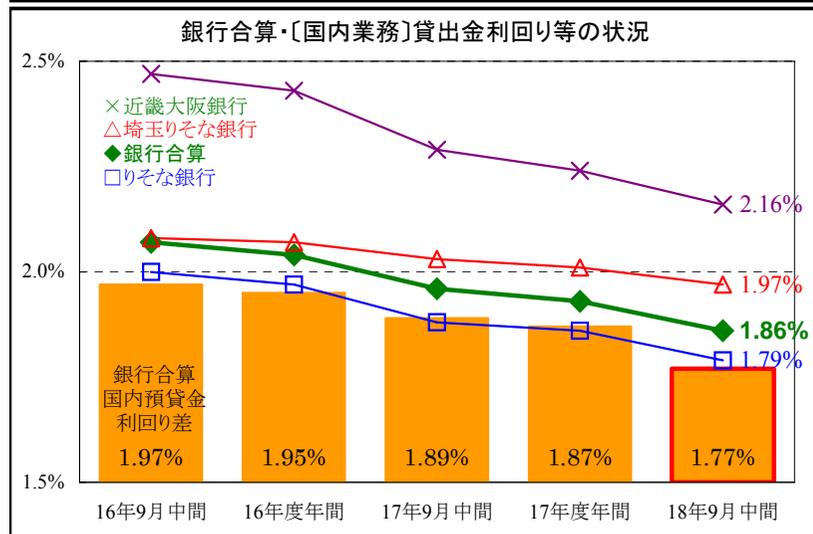
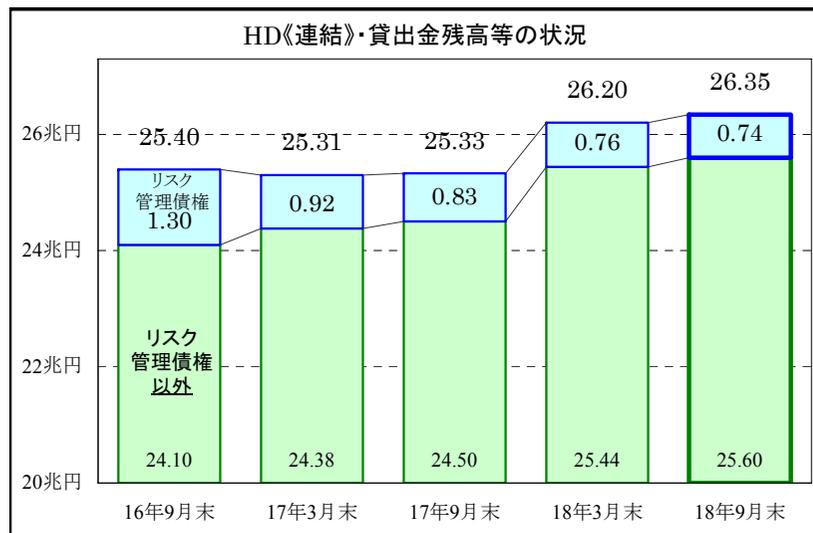
※貸借対照表の資産の部に計上される繰延税金資産÷Tier I

【参考】HD連結・自己資本比率の推移



注1: 金額については単位未満を切捨て表示 注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

貸出金の状況



(単位:億円)

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	526	311	95	119
危険債権	3,425	2,402	446	576
要管理債権	3,092	2,344	417	331
開示不良債権計	7,044	5,059	958	1,026
18年3月末比	△64	△136	+91	△18
不良債権比率※	2.52%	2.62%	1.62%	3.82%
18年3月末比	△0.03%	△0.06%	+0.12%	△0.16%

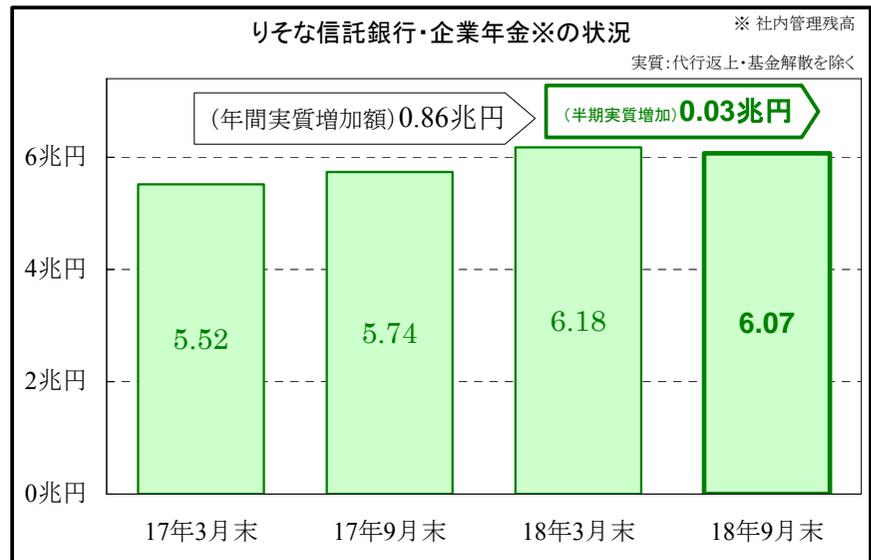
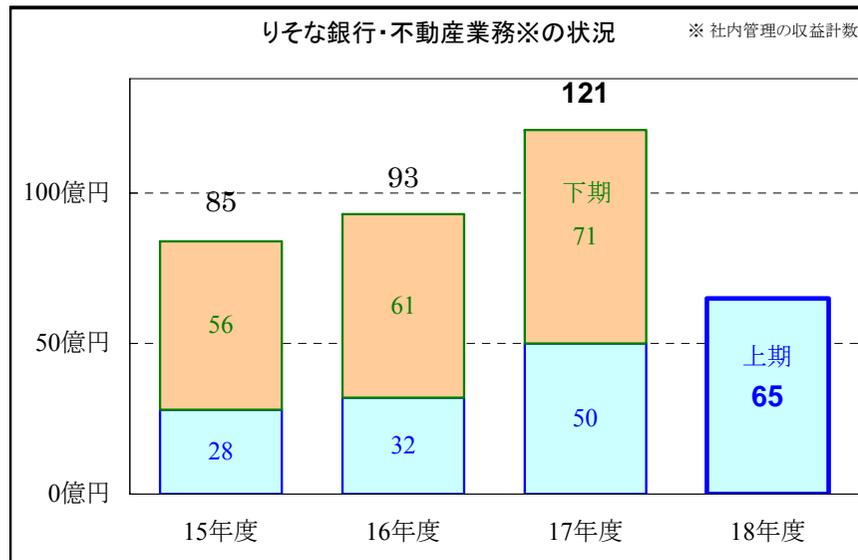
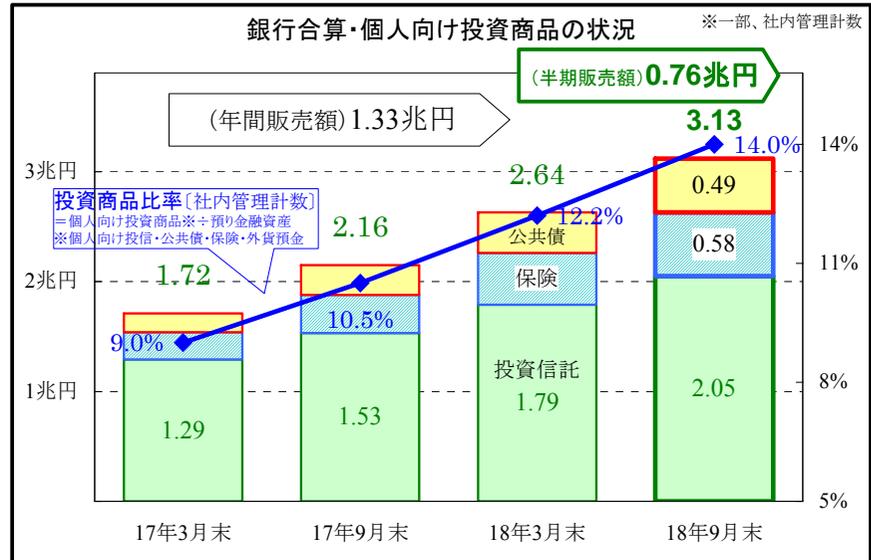
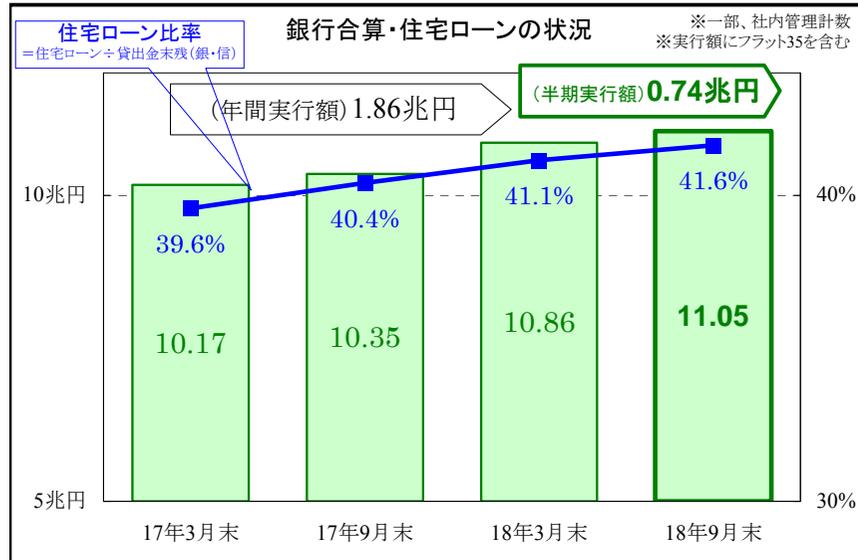
※ 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計(総与信)【銀行合算】

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	1	1	—	—
一般貸引繰入額	△8	4	31	△45
個別貸引繰入額	228	197	△0	31
償却他処理額	120	67	34	18
償却債権取立益	△160	△113	△28	△18
与信費用総額(△)	181	157	36	△13
① 区分劣化・改善等	488	394	13	80
② オフバランス等	△298	△241	△8	△48
③ 一般貸引など	△9	4	31	△45

- ① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失、及び債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
- ② 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算
- ③ 実質的な一般貸倒引当金の繰入・戻入をネットした影響等(一部、目的取崩等を考慮)

注1:金額については単位未満を切捨て表示 注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

強みを活かすビジネス分野



注1:金額については単位未満を切捨て表示 注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

平成19年3月期の業績予想

(単位: 億円)

	HD《連結》		
	(中間実績)	[年間予想]	17年度実績比
連結経常収益	5,747	10,500	+30
連結経常利益	2,072	3,500	△183
連結当期(中間)純利益	4,609	5,600	+1,768

期末自己資本比率見込

11%台半ば 注: 現行規制ベースで表示

(単位: 億円)	HD《単体》		
	(中間実績)	[年間予想]	17年度実績比
営業収益	2,615	3,900	+725
経常利益	2,560	3,800	+779
当期(中間)純利益	2,875	4,100	+1,110

19年3月期末普通配当予想※1、2 1,000円

19年3月期末優先配当予想※2 所定の配当

※1. 配当方針は「中間決算短信」2. 経営方針(2)利益配分に関する基本方針を参照
 ※2. 配当予想の詳細については「個別中間財務諸表の概要」を参照

	銀行合算【概数】		りそな		埼玉りそな		近畿大阪		りそな信託	
	[年間予想]	17年度実績比	[年間予想]	17年度実績比	[年間予想]	17年度実績比	[年間予想]	17年度実績比	[年間予想]	17年度実績比
業務粗利益	7,000	+64	4,650	+3	1,440	+82	645	+0	285	+28
経費(△)	3,650	+165	2,400	+147	720	+28	420	+12	115	+8
実勢業務純益	3,350	△102	2,250	△144	720	+54	225	△11	170	+21
臨時・特別損益など	150	△412	250	△357	△110	△22	△5	△55	0	+0
うち株式関係損益	400	△139	370	△162	0	△6	20	+20	—	—
うち与信費用総額(△)	400	+545	300	+460	80	+10	△20	+42	—	—
税引“前”当期利益	3,500	△514	2,500	△502	610	+33	220	△67	170	+20
税引後当期純利益	5,450	+1,543								

(平成17年度より連結納税制度を採用しております)

期末自己資本比率見込

注: 現行規制ベースで表示

《連結》

9%台前半

《単体》

8%台前半

《連結》

8%台半ば

《単体》

120%程度

本資料中の将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。併せて、決算短信「3. 経営成績及び財政状態、(3) 事業等のリスク」、有価証券報告書、ディスクロージャー誌などの各公表済の最新資料をご参照下さい。

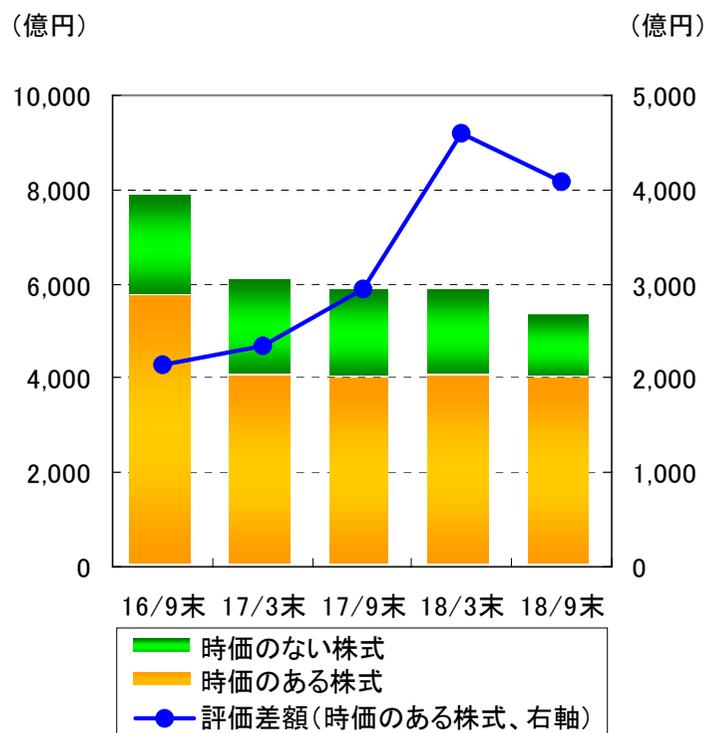
注1: 金額については単位未満を切捨て表示 注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

ご参考資料

有価証券の状況

- 18年度中間期の株式関係損益(合算ベース)は +343億円(前年同期比 +53億円)
- 同債券関係損益(合算ベース)は、▲68億円(前年同期比 ▲174億円)
- 18/9末時点の時価のあるその他有価証券全体(連結ベース)で+3,624億円(18/3末比▲830億円)の含み益

株式残高の推移 (その他有価証券、HD連結ベース)



- 株式売切り簿価 18年度中間期(実績): 52億円(合算ベース)

債券残高の推移

【保有有価証券 残高(単体ベース)】 (億円)

	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託	傘下銀行合算
国債	24,005	5,450	2,689	200	32,345
1年以内	15,242	2,008	7	200	17,458
1年超5年以内	1,840	903	2,374	-	5,118
5年超10年以内	2,729	684	258	-	3,672
10年超	4,192	1,853	49	-	6,095
その他※	26,585	7,639	5,120	-	39,345
合計	50,590	13,089	7,810	200	71,690

※「その他」には地方債、社債、株式、外国証券等を含む

【保有債券等含み損益(連結ベース)】 (億円)

	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末	18/3末	18/9末
国債	▲37	46	107	▲177	▲640	▲329
その他※	131	70	168	442	470	▲144
合計	94	115	275	265	▲170	▲473

※その他には地方債、社債、外国証券等を含む

10年国債金利	1.440%	1.440%	1.320%	1.475%	1.765%	1.665%
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

【国内債券デュレーション(バンキング勘定)】 (年)

	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末	18/3末	18/9末
グループ	2.8	2.0	2.1	2.3	2.4	2.1
りそな銀行	2.7	1.9	1.9	2.3	2.3	2.0

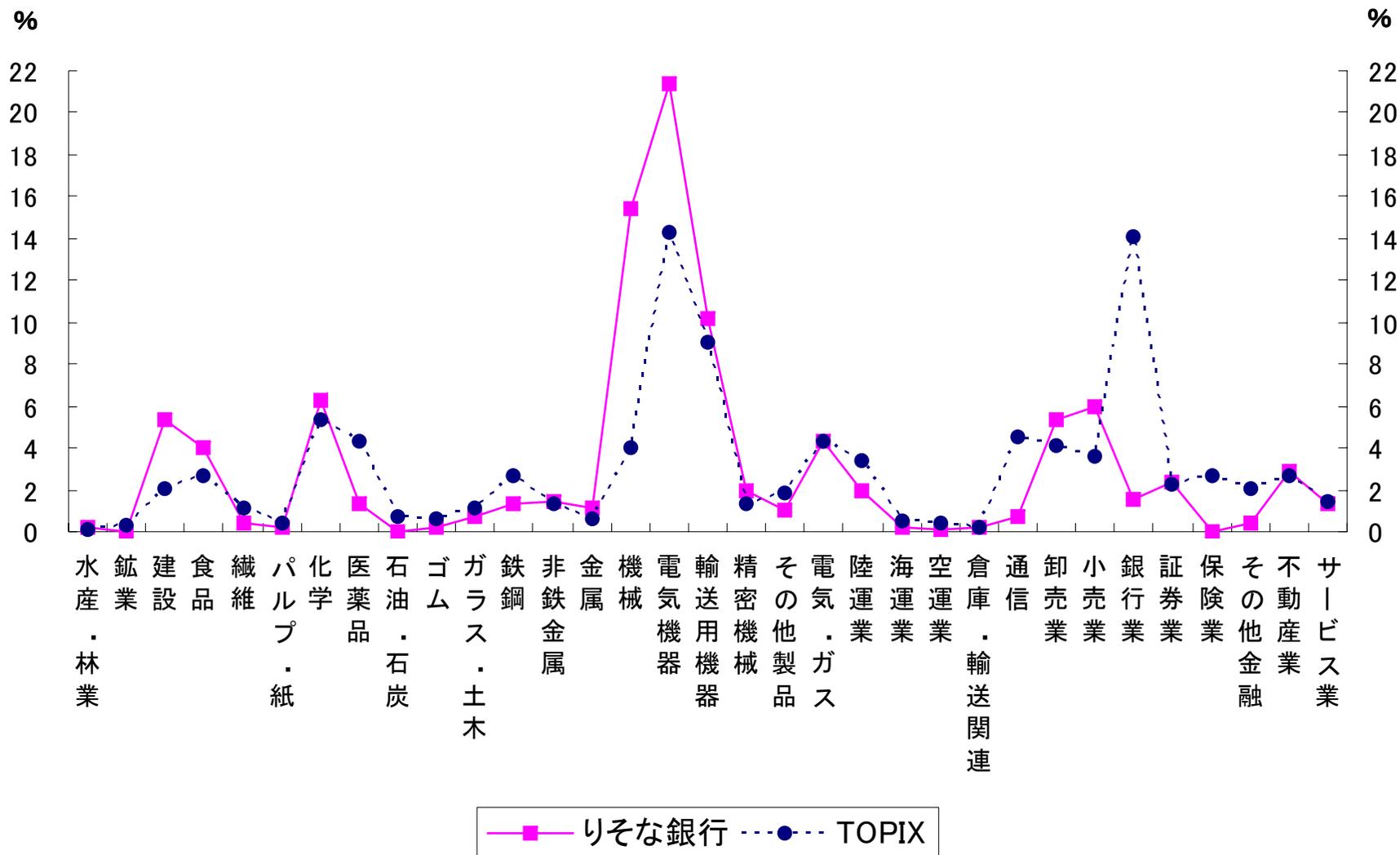
【金利感応度(BPV、国内債券)】 (億円)

	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末	18/3末	18/9末
グループ	▲16.5	▲12.6	▲10.2	▲13.8	▲13.0	▲9.9
りそな銀行	▲10.3	▲8.2	▲6.5	▲8.9	▲7.7	▲6.1

【政策保有株式の評価損益がゼロとなる日経平均株価水準】 (円)

	16/3末	16/9末	17/3末	17/9末	18/3末	18/9末
グループ	—	—	6,600	6,300	6,000	6,600

保有株式 業種別ポートフォリオ (18年9月末 リそな銀行単体)



債務者区分間の遷移状況（りそな銀行）

与信額ベース(18年度上期の遷移状況)

		18年9月末									上方遷移	下方遷移
		正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	その他	その他			
									全額回収/返済	債権譲渡/売却		
18年3月末	正常先	95.8%	3.8%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	4.2%
	要注意先	10.3%	76.6%	1.7%	4.7%	0.3%	0.2%	6.1%	6.1%	0.0%	10.3%	6.9%
	要管理先	2.3%	4.5%	83.3%	5.6%	0.6%	0.2%	3.5%	3.5%	0.0%	6.8%	6.4%
	破綻懸念先	1.7%	2.1%	2.3%	78.9%	5.4%	1.7%	7.8%	6.2%	1.6%	6.1%	7.1%
	実質破綻先	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	72.6%	16.8%	10.2%	2.2%	6.5%	0.5%	16.8%
	破綻先	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	13.3%	0.4%	2.7%	0.0%	-

- 18/3末において各債務者区分に属していた債務者が18/9末においてどの区分に属しているかを表示
- 18/3末時点の与信額をベースに算出
18年度上期中の追加与信、部分回収、償却（部分直接償却を含む）等は反映せず
- 18/9末の「その他」は18年度上期中の全額回収・返済、最終処理（債権譲渡・売却等）などでバランスシートから切離されたもの

オフバランス化の実績(4行合算)

- 18年度上期の新規発生額は1,449億円
- 18年度上期のオフバランス化実績▲1,057億円により、破綻懸念先以下のオフバランス化対象債権残高は390億円増加

(単位:億円)	18/上 (18年9月末)	17/下 (18年3月末)	17/上 (17年9月末)
オフバラ対象債権残高	3,951	3,560	4,365
オフバラ措置済残高	522	602	702
ネット半期増減	+390	▲805	▲625
半期中新規発生	+1,449	+1,285	+1,192
半期中オフバラ実績	▲1,057	▲2,034	▲1,817
清算型処理	△33	△352	△859
再建型処理(含む改善)	△98	△687	△94
債権流動化	△318	△480	△875
直接償却	266	673	1,323
回収・返済等	△619	△916	△948
業況改善	△254	△270	△363

※17/下新規発生分には、奈良銀行の合併時不良債権残高を含む。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。
